

事務支援システムについて

近藤まゆみ 福家隆
M. Kondo T. Fuke

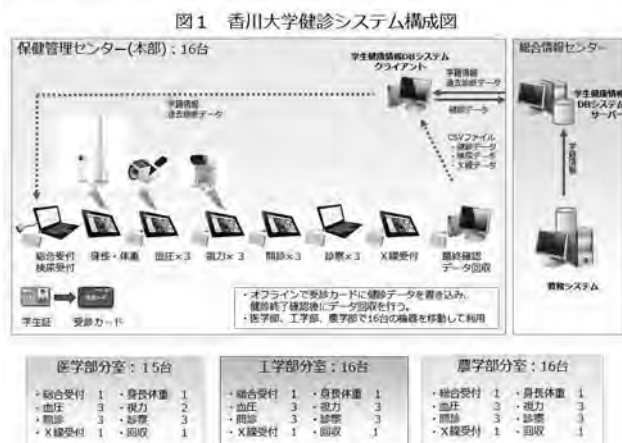
(香川大学学術室情報グループ)

1. はじめに

情報グループでは、主に事務職員が業務利用する事務支援システムの保守管理を行っています。運用担当の事務部門と連携して、計画的にシステムを再構築し、事務作業の効率化、業務改革、サービスの向上、コストの削減などにより、大学運営支援体制の強化を図っています。

2. 新規導入システム

保健管理センターでは、毎年、学生定期健康診断を実施し、健診データを所定用紙に記入していました。情報グループでは、健診データを外部委託によりデータ化した後の健康診断証明書作成と各種統計データ作成を Access プログラム作成等によりサポートしていましたが、IC カード利用の自動健診システムと、学生の健康情報の管理と教務データとを連携するシステムを新規に導入することになり、自動健診システム及び学生健康情報 DB システムの構築支援を行いました。



3. 更新システム

人事評価システムは、2007年度にサイエンティアのシステムを新規導入・運用してきましたが、HDCのシステムに更新し、2014年度から運用開始しました。

2010年度に複合機の一括契約から情報入出力運用支援サービスに移行し、Ricohの個人認証システ

ム(リコー AuthenticationServerAE2, Ricoh IO OperationServer Pro)によるサービスで運用していましたが、契約更改で2015年3月から、XEROXの複合機管理用ソフトウェア(ApeosWare Management Suite)による運用を開始しました。

4. システム統合、運用範囲拡大

医学部キャンパスでは、附属病院新病棟開院に伴い、入退出管理システムを導入しましたが、医学部には、従来、複数の入退出が導入されており、それぞれマスタ管理されていました。業務効率化のため、別に管理されていた大学会館、図書館医学部分館も統合しました。

幸町キャンパスでは、別々に管理していた研究交流棟を ALSOK からクマヒラの入退出システムに統合しました。

また、2012年度に導入したタブレット会議システムは、役員連絡会等主に事務局で運用開始しましたが、2014年度工学部でも設備や運用体制が整ったため、運用開始しました。

5. Windows2003Server 対応

次のシステムは、当初、システム構築したサーバの OS(Windows2003 Server)の Microsoft サポート期限(2015年7月15日)が迫ったため、サーバ更新と共にシステムのバージョンアップや統合を行いました。

- ・医学部ファイルサーバ
- ・学納金システム
- ・就職支援システム(求人票システムと統合)

6. 2015年度の更新計画

2015年度は、グループウェアをサイボウズ・ガルーン2から、SharePointによるシステム構築を計画しています。

また、大学基礎情報 DB システムは Reserchmap を主力源としたシステムへの更新を計画しています。